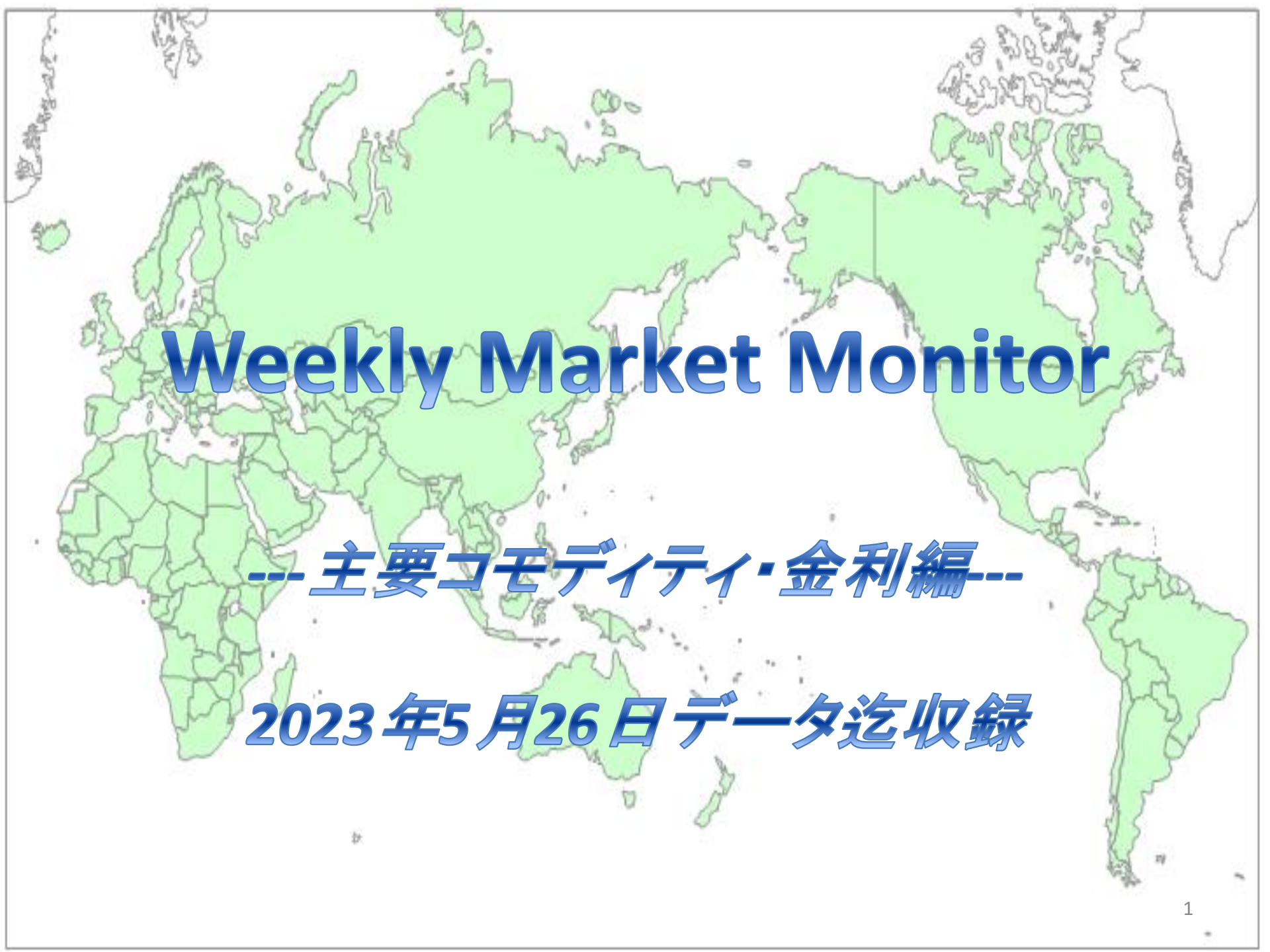


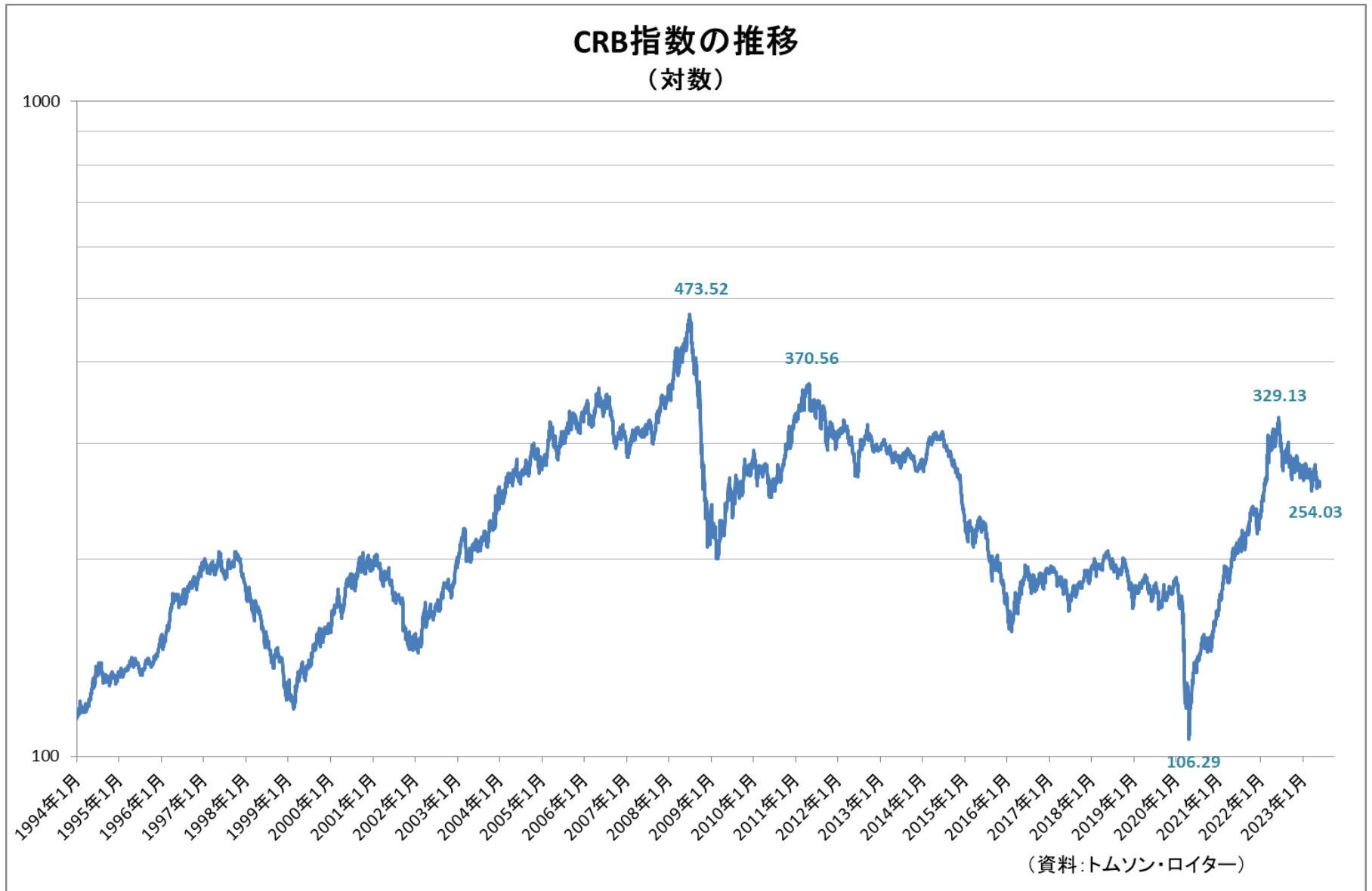
A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

Weekly Market Monitor

---主要コモディティ・金利編---

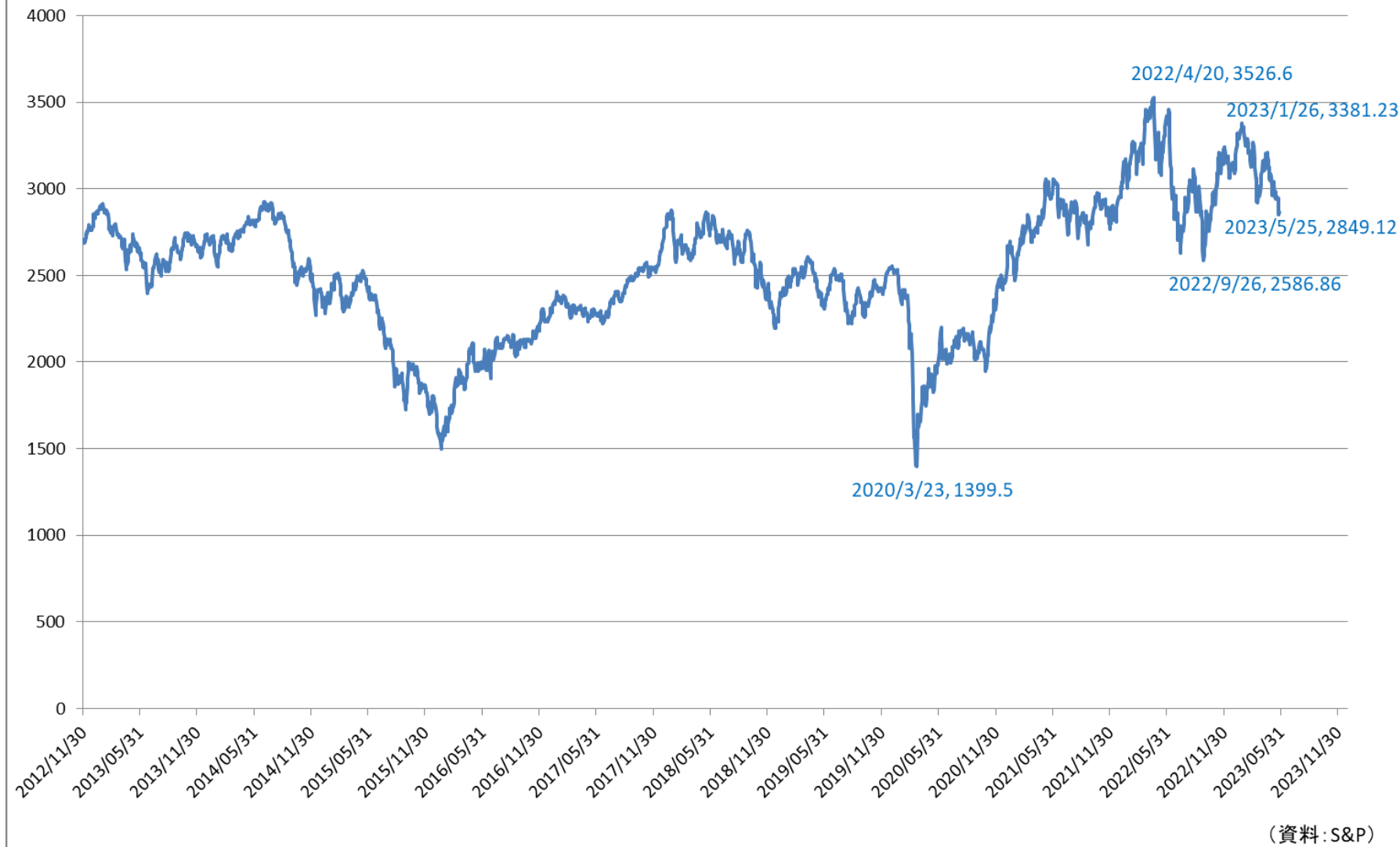
2023年5月26日データ迄収録

コモディティ指数はピークアウトも足踏み状況



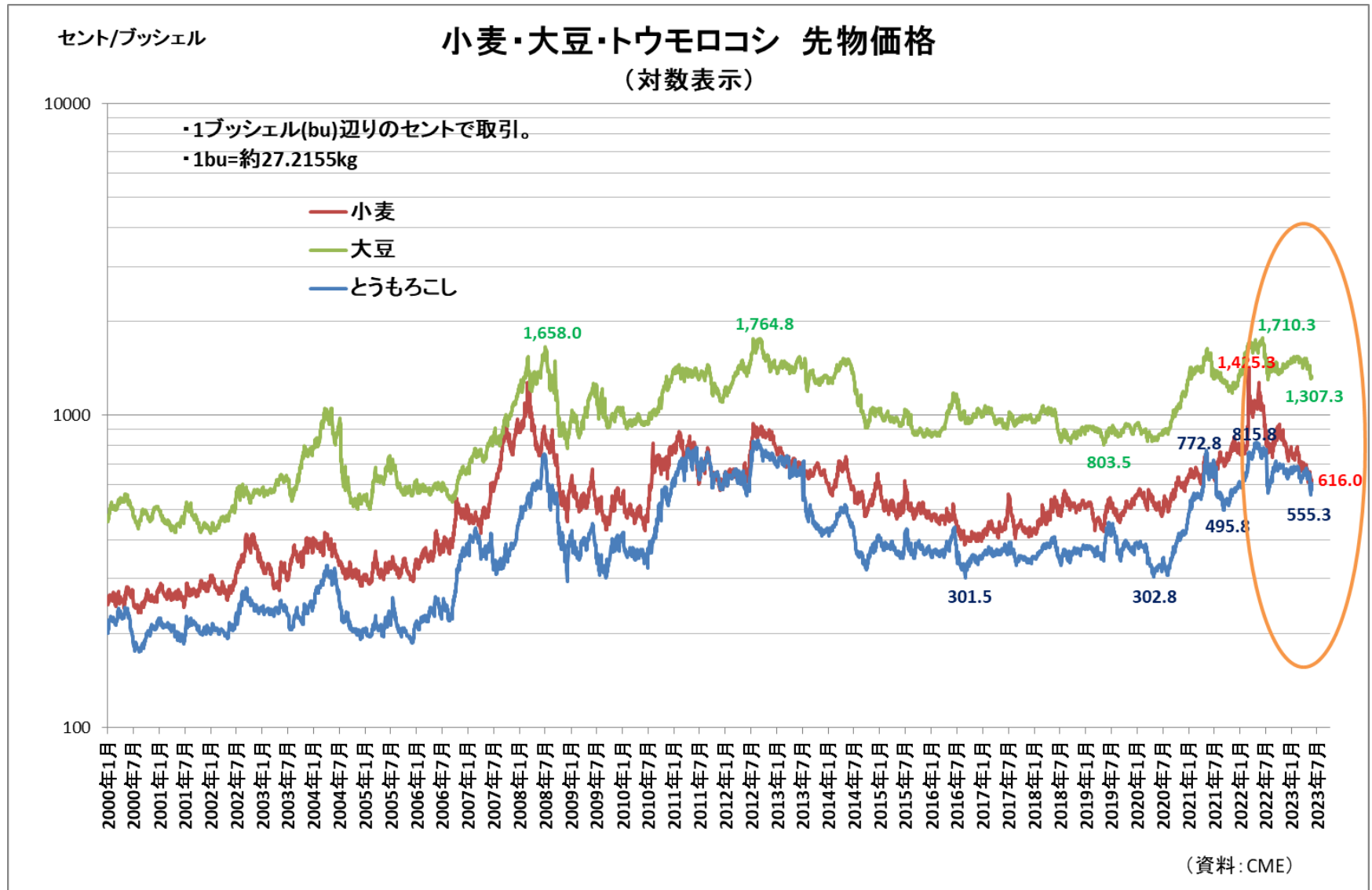
天然資源株に対する期待度は低下傾向

S&P天然資源株式インデックス



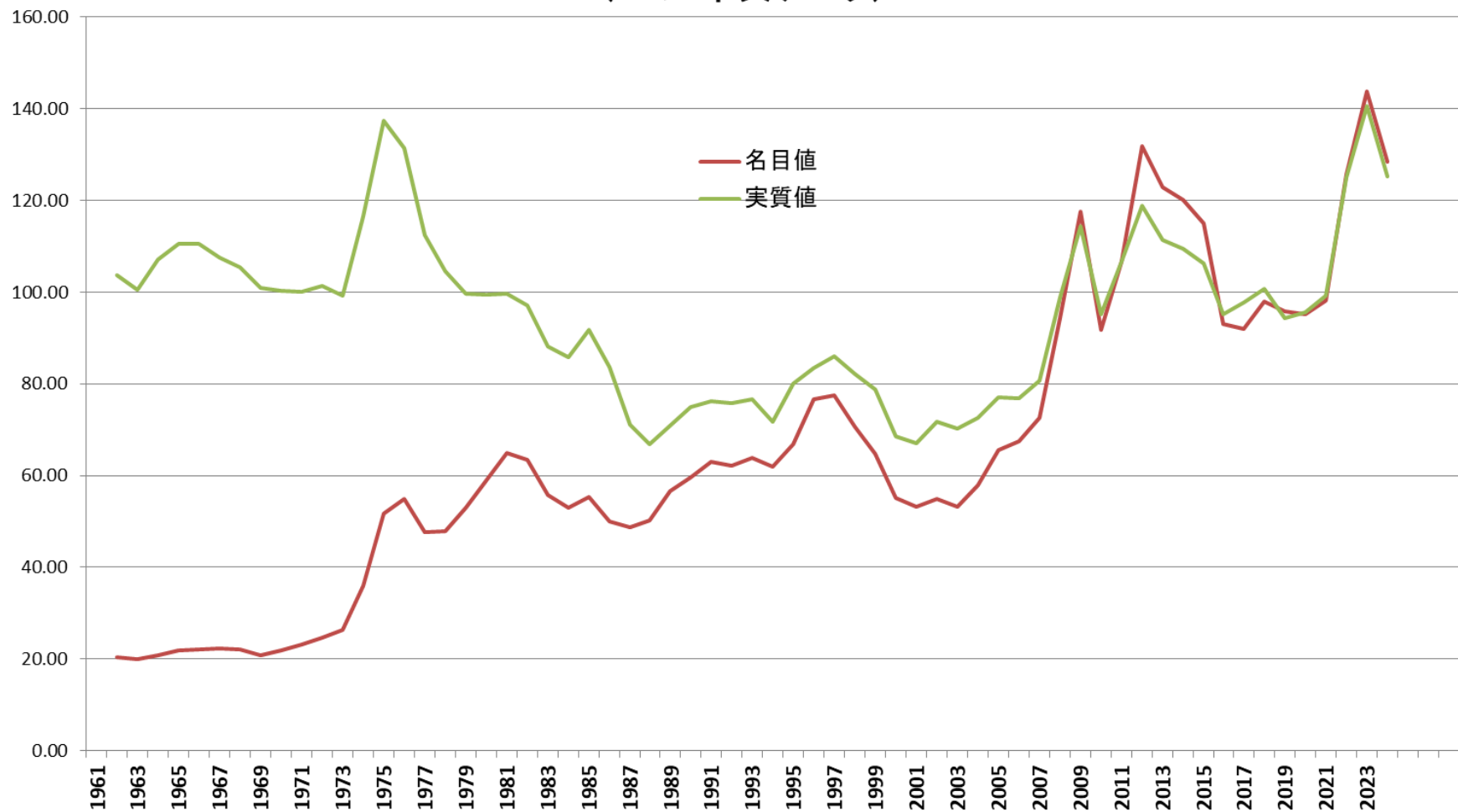
穀物価格は下方バイアス

---原油価格高騰・下落と高い相関度: バイオ燃料転用需要のため---



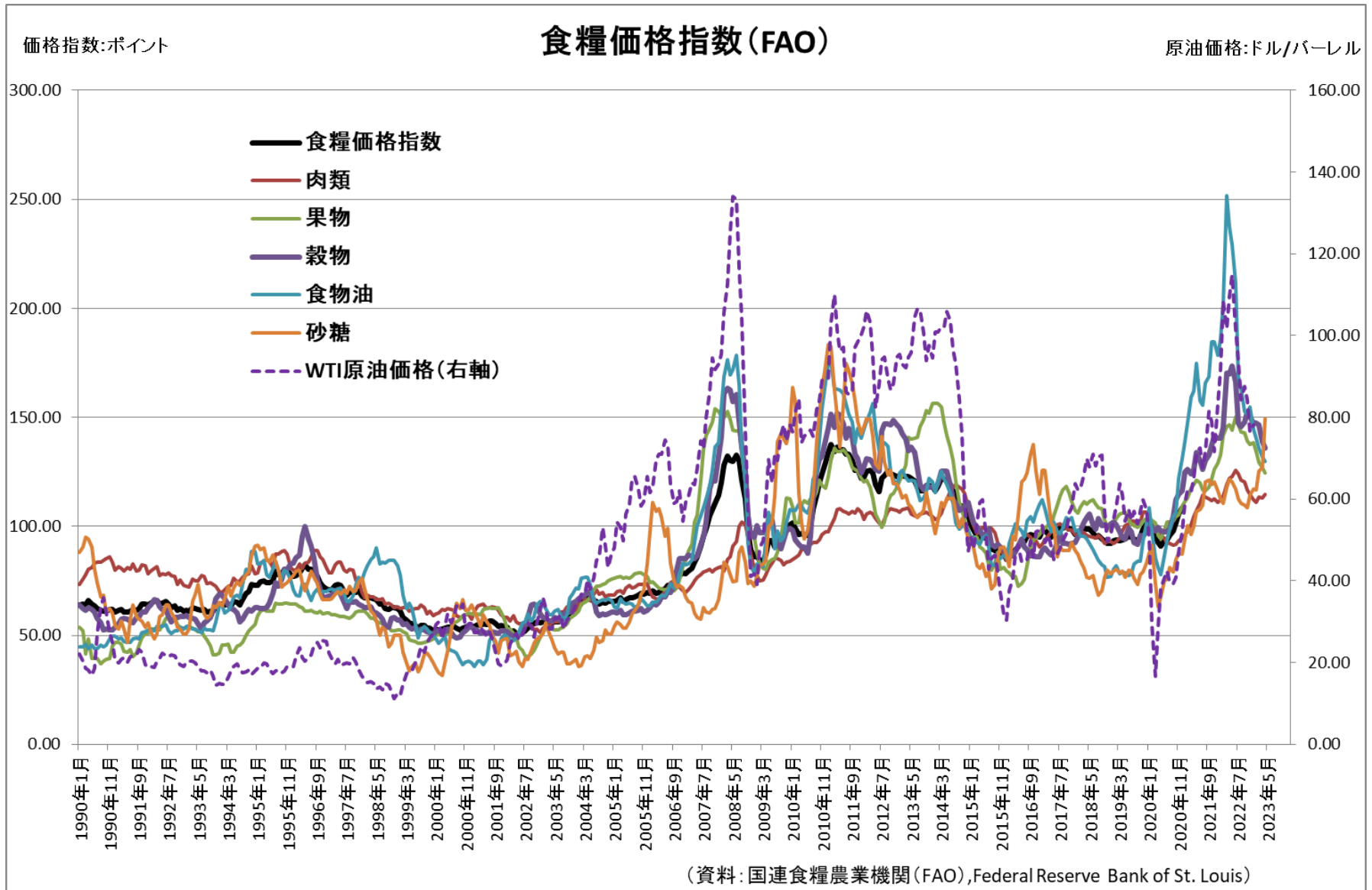
食糧価格は名目・実質共に歴史的 high から後退

食糧価格指数
(FAO: 年次データ)



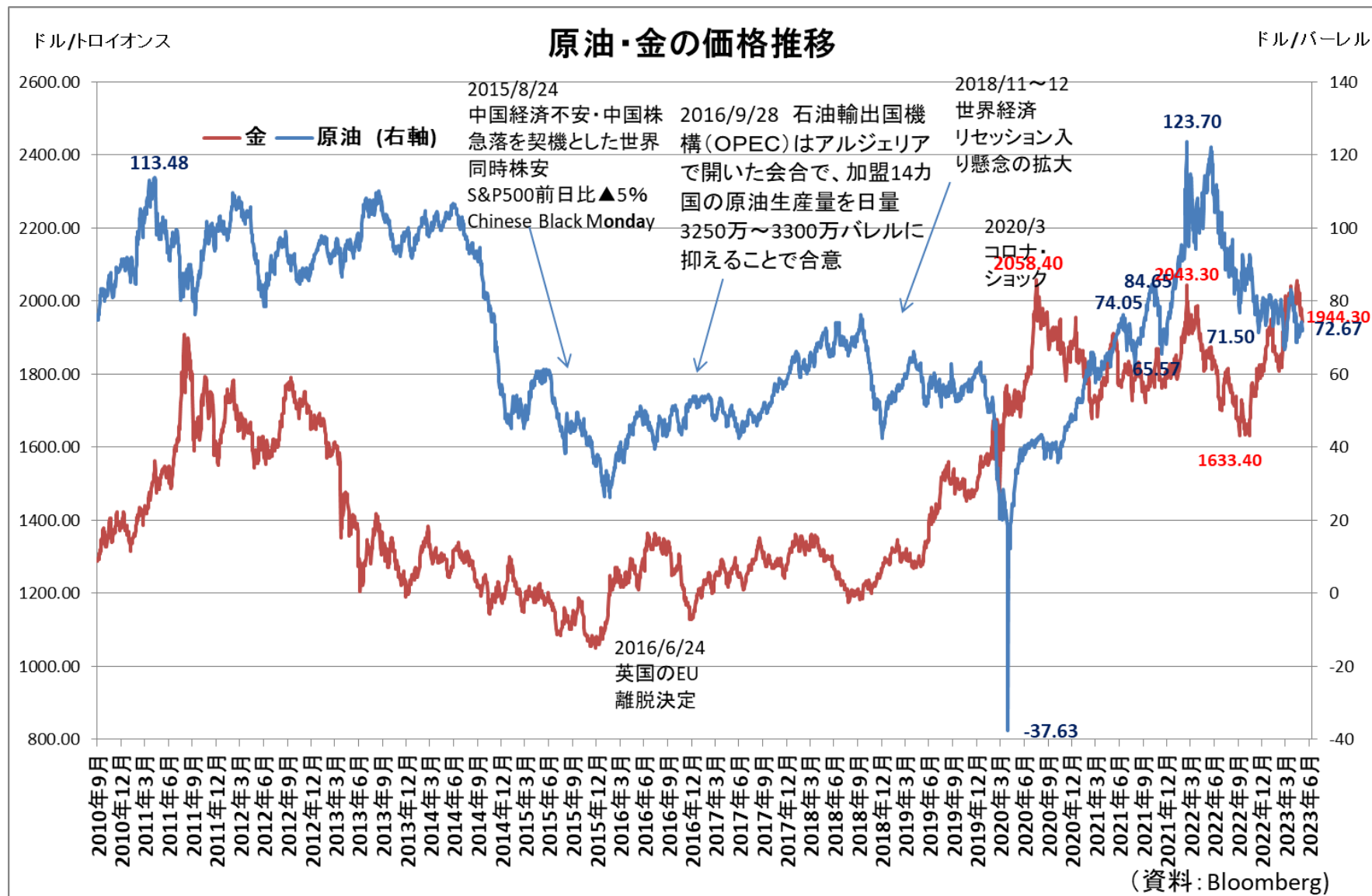
(資料: 国連食糧農業機関(FAO))

食糧価格は上昇から若干低下も高いレンジを維持



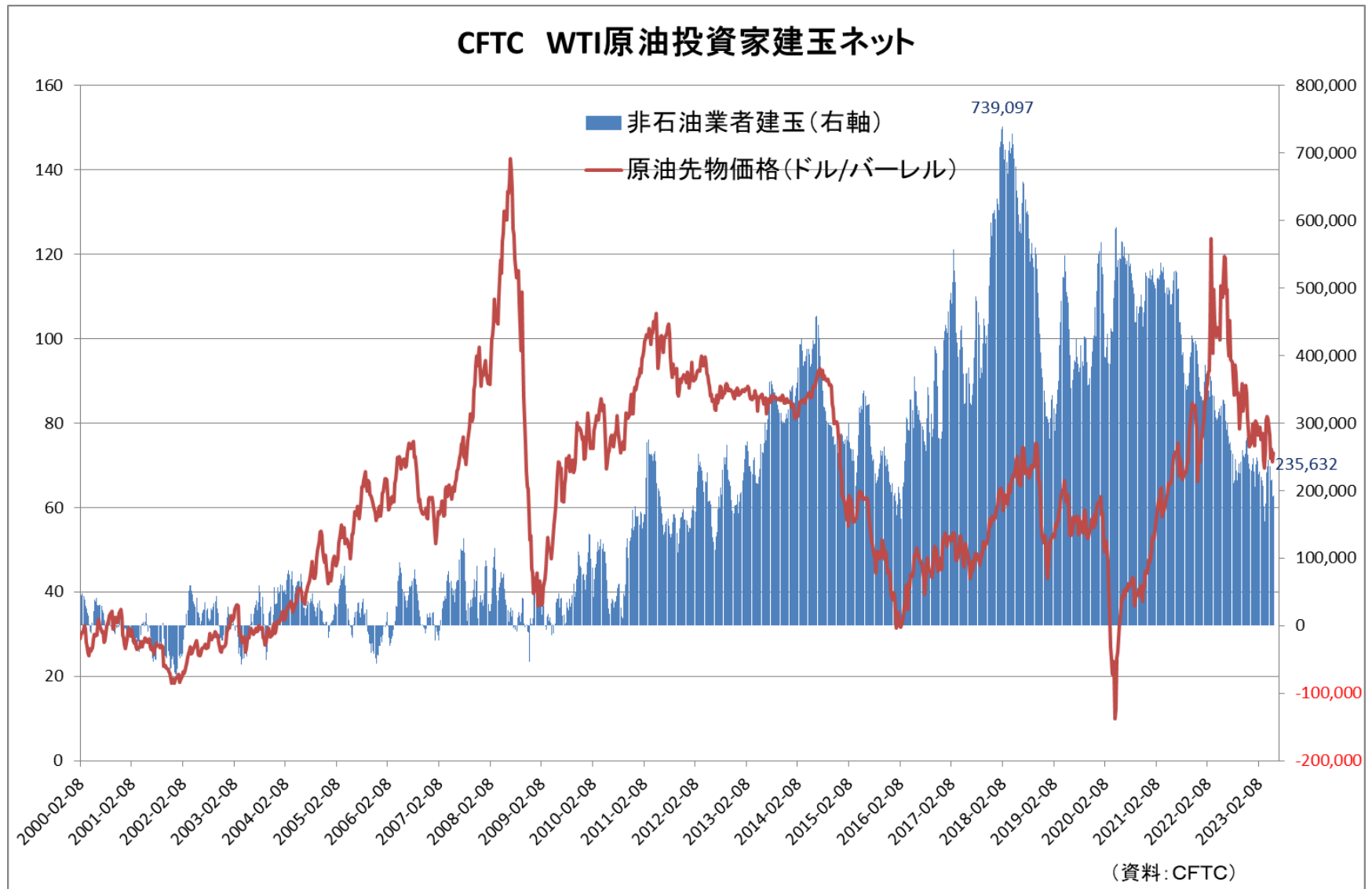
WTIはOPEC+の減産決定で価格上昇したが、限定的

---金はドルの急落によって、短期的に、ドル代替資産として急上昇---



世界の投資家の原油先物ポジション

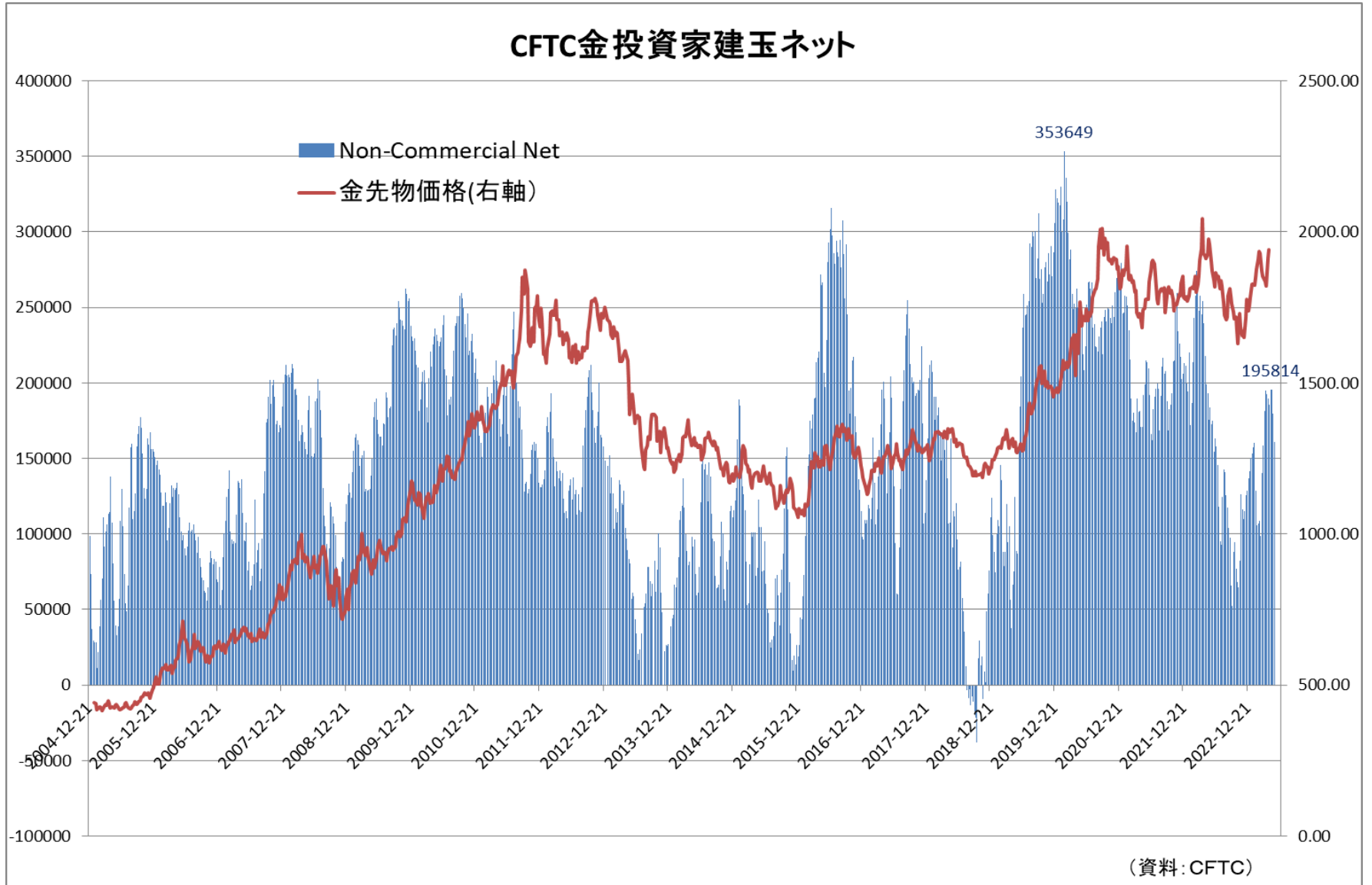
---世界景気後退観測も拡大、買建ポジションは減少---



世界の投資家の金先物ポジション

---ドルのピークアウトで金の買建ポジションも当面の底入れ---

CFTC金投資家建玉ネット



銅価格が2011年以降の世界経済の上下動を先に示唆

---銅価格は上値を試した後、下方バイアス---

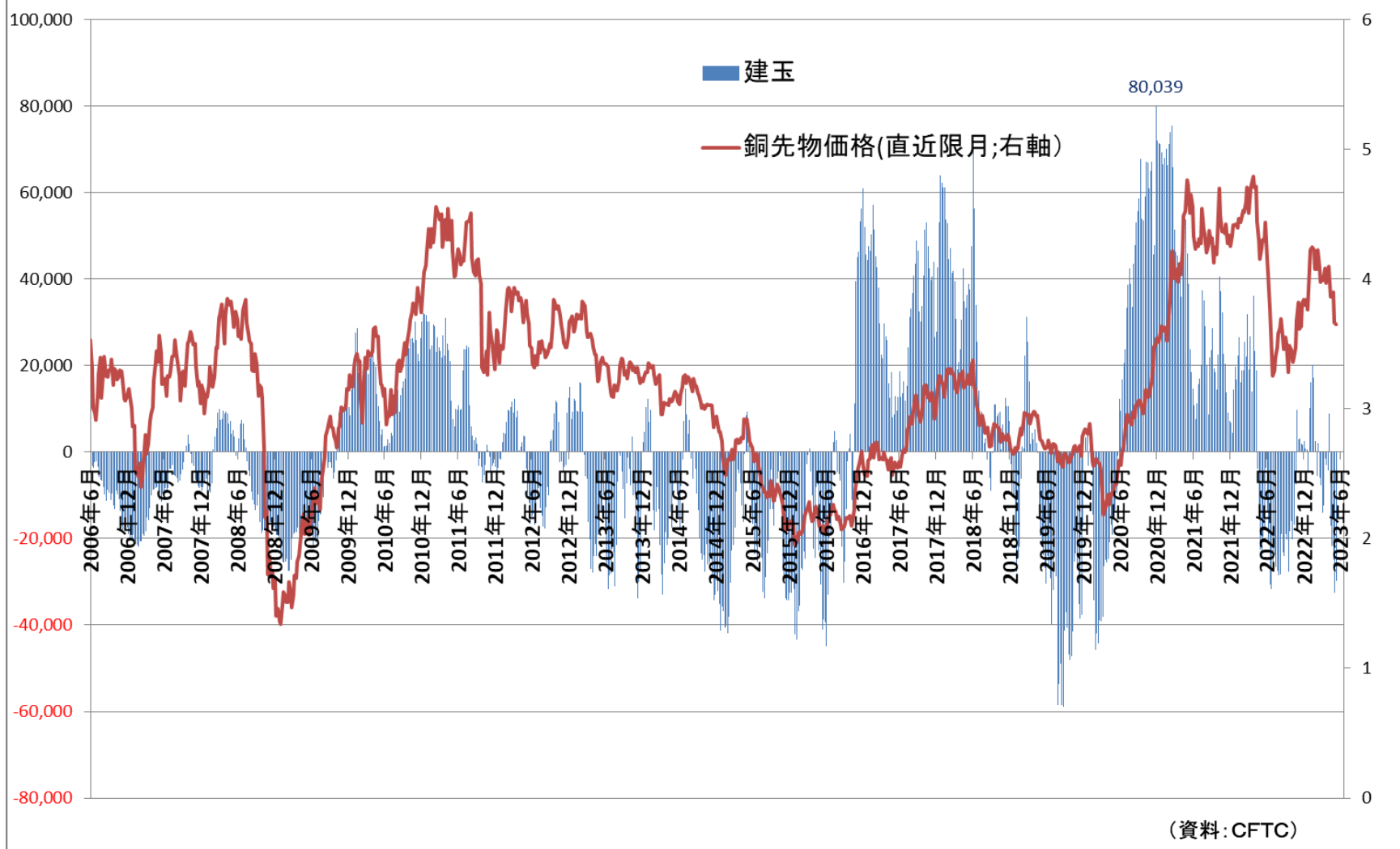


世界の投資家の銅先物ポジション

---中国回復期待による需要を織り込むも、建玉は売り越し超に転じて銅価格も失速状態---

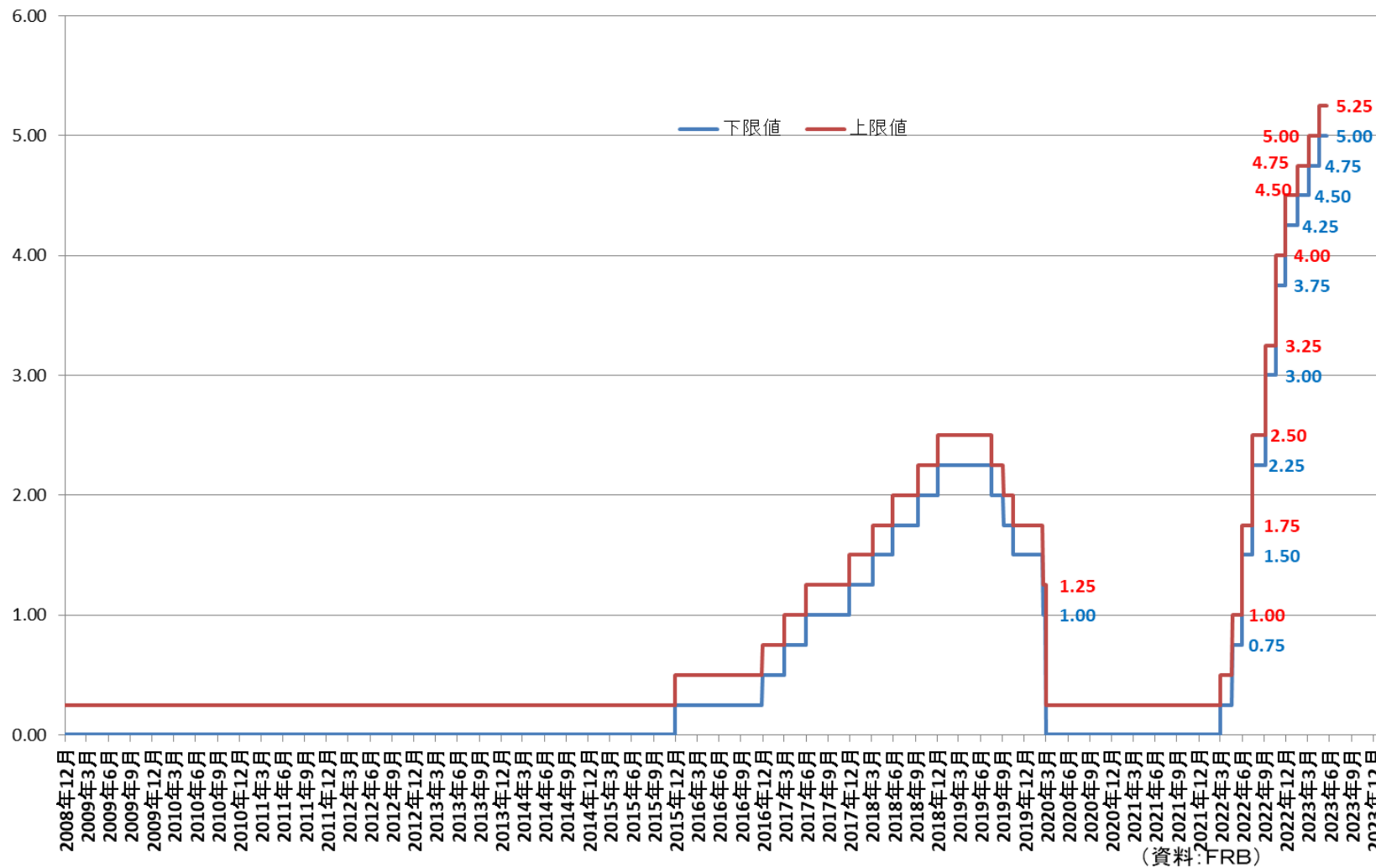
CFTC銅投資家建玉ネット

ドル/ポンド



ドル金利動向

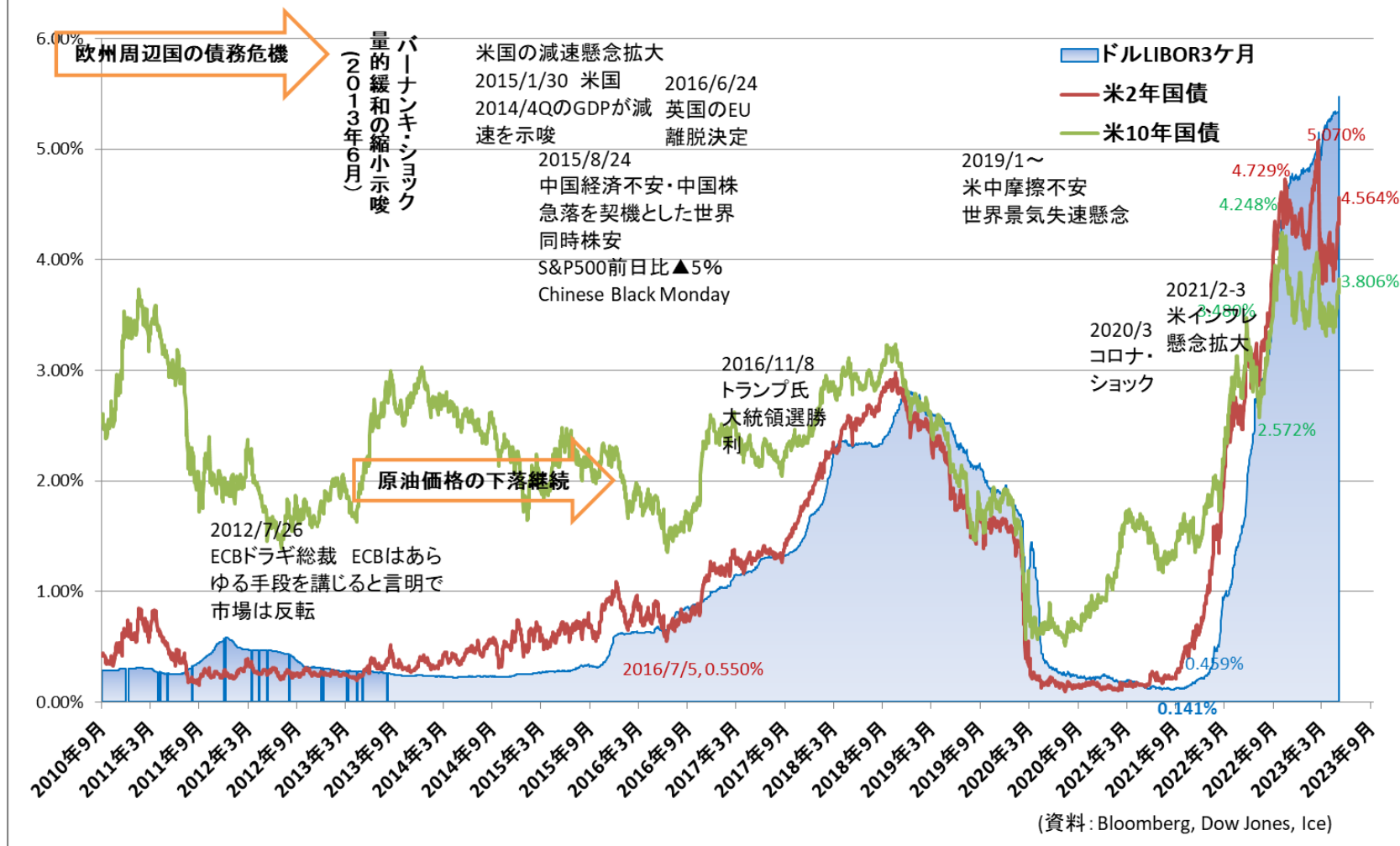
フェデラル・ファンド・ターゲット・レート



ドル金利動向

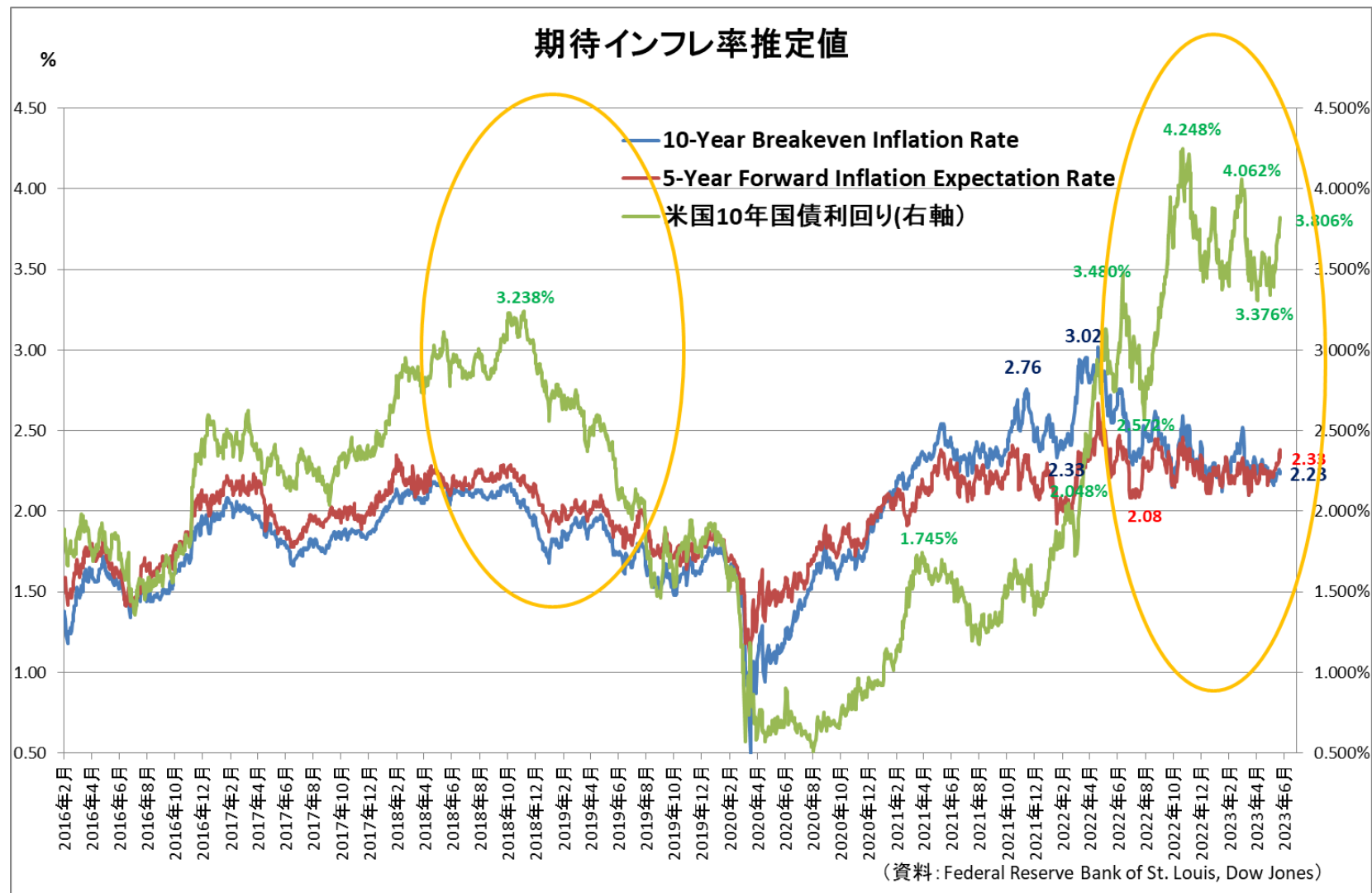
---完全な逆イールド化、先行き景気懸念を強く示唆---

ドルLIBOR3か月, 米国債2年 & 10年



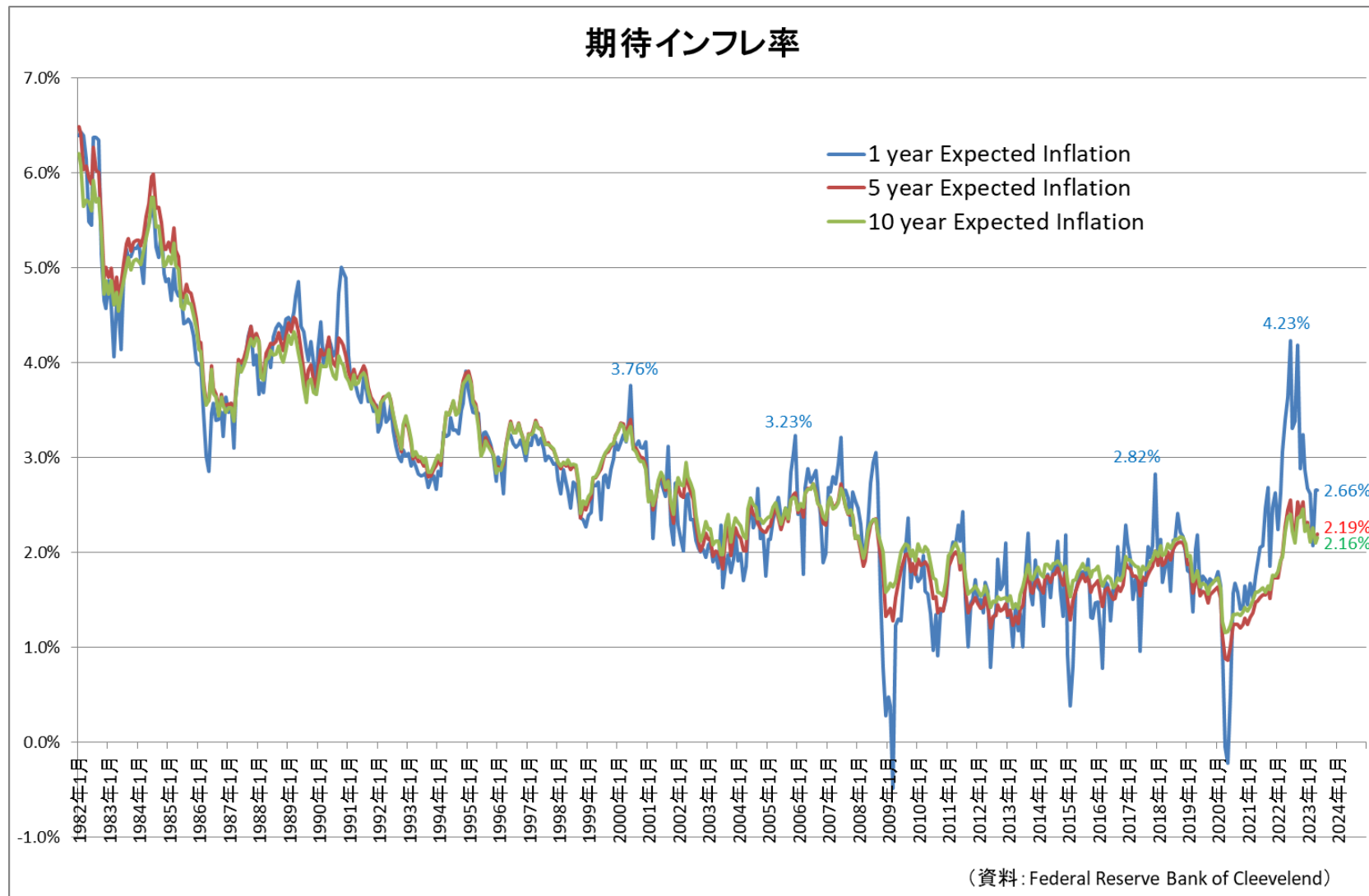
米国市場の期待インフレは上昇一巡

---10年期待インフレ率は3%が上限。2%台前半で往来状況---



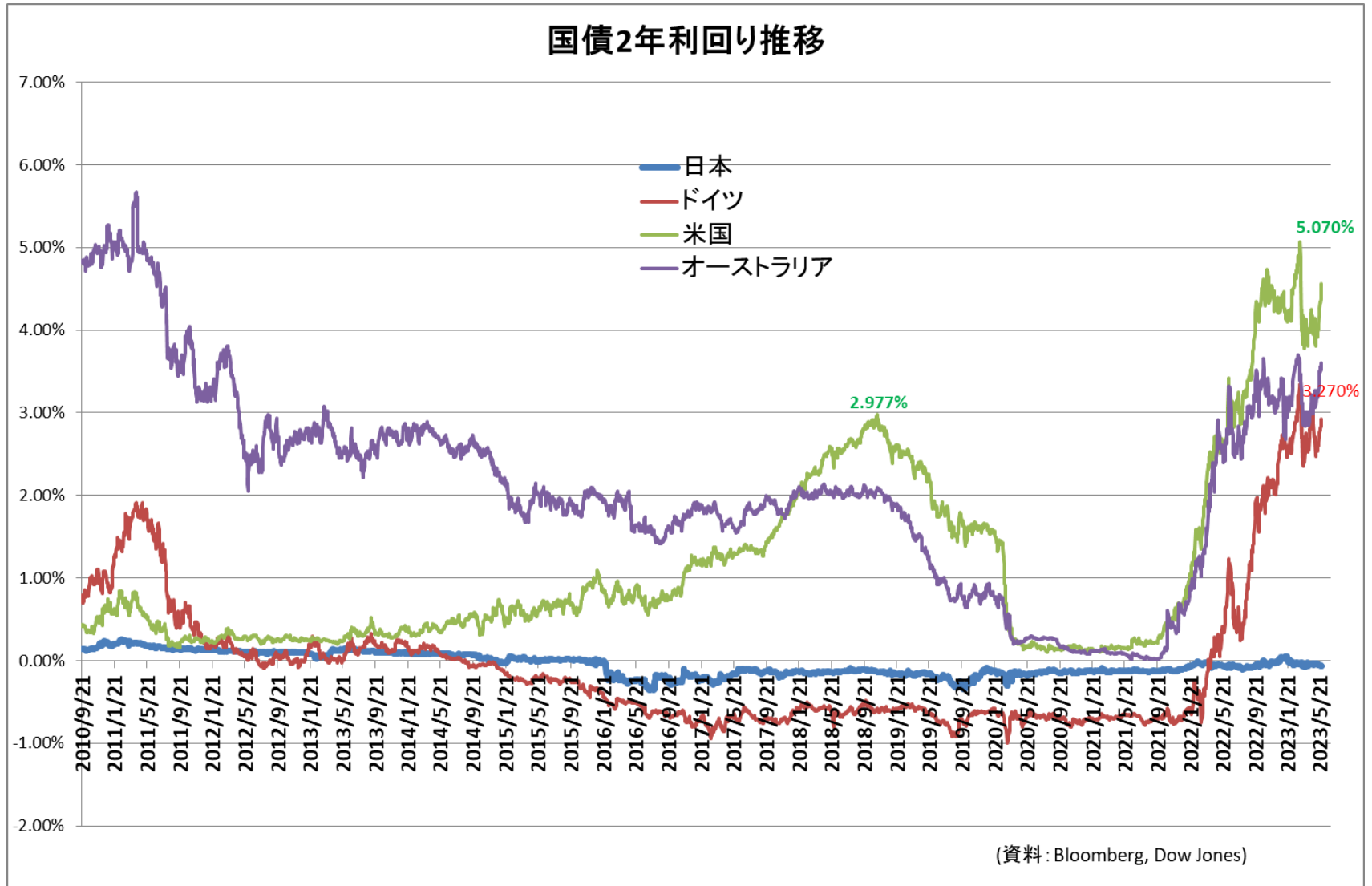
米国の期待インフレは基本低下基調

---ファンダメンタルを加味した推計は2022年6月でピークアウト---



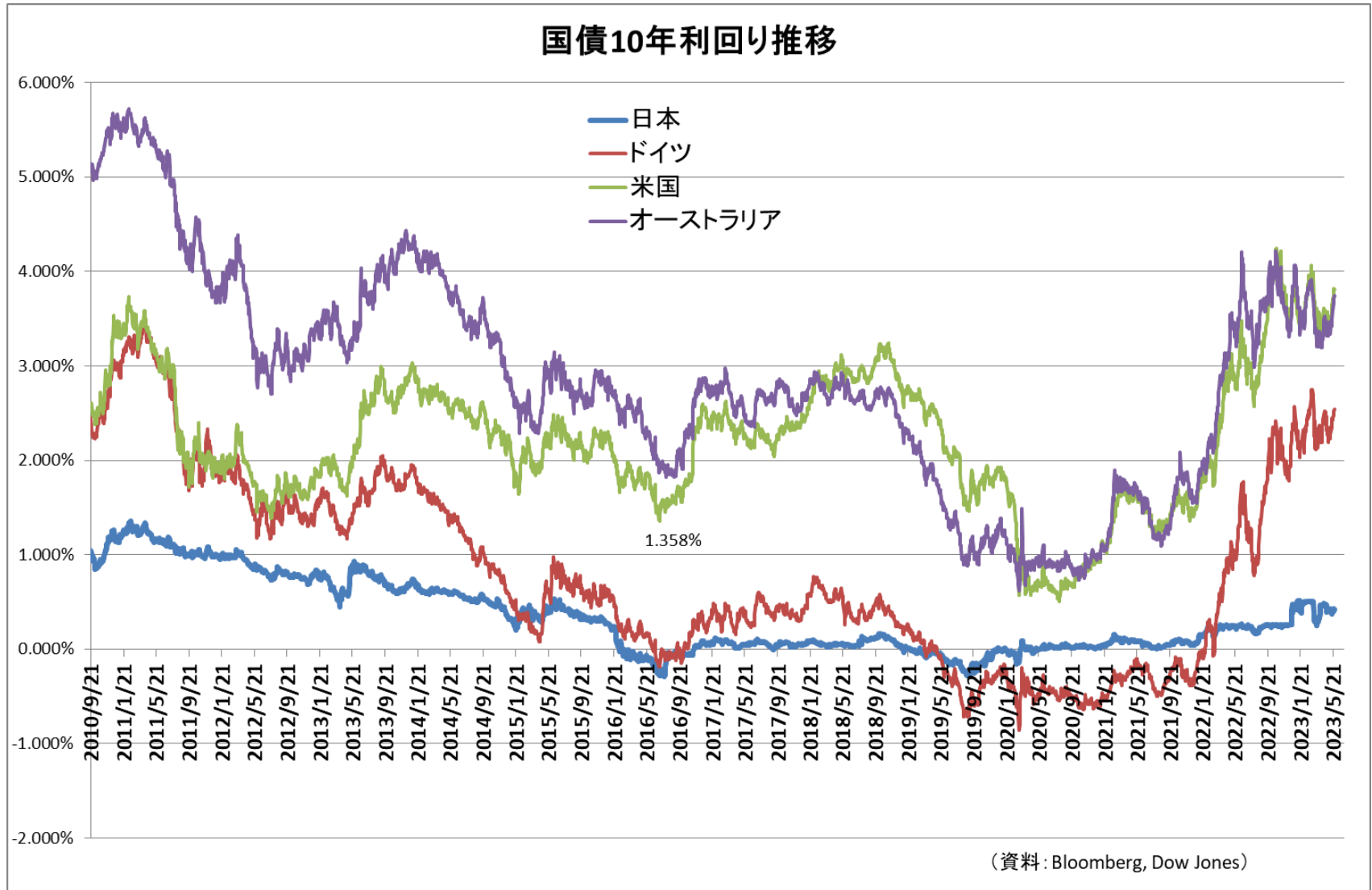
金利動向

---米雇用・需要が高原状態で、FRBの引き締め継続を織り込み---



金利動向

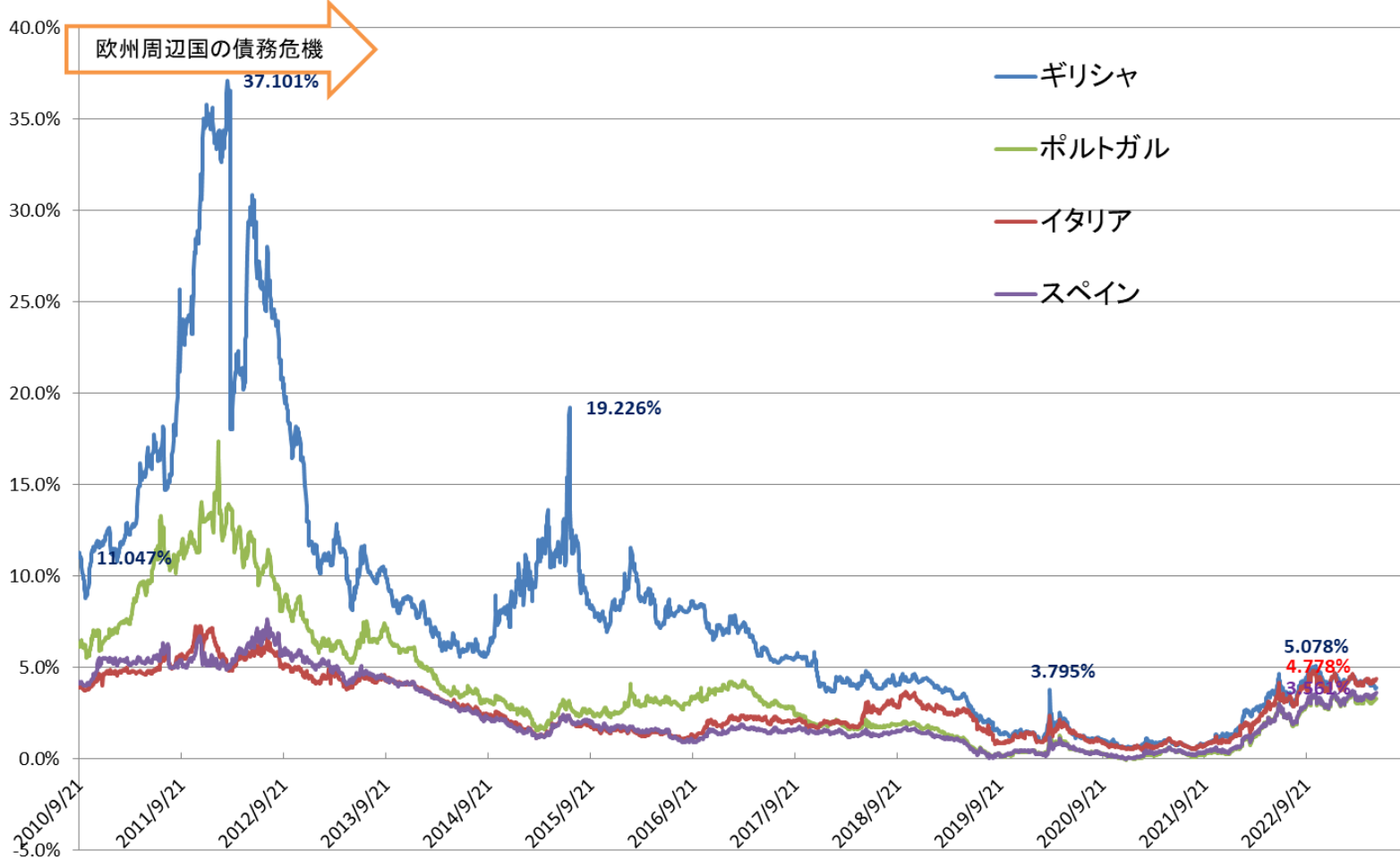
---主要10年金利も全般にピークアウトも高原状態のボックス圏---



金利動向

---欧州周辺国金利は水準切り上げ一服でリスク意識は平静---

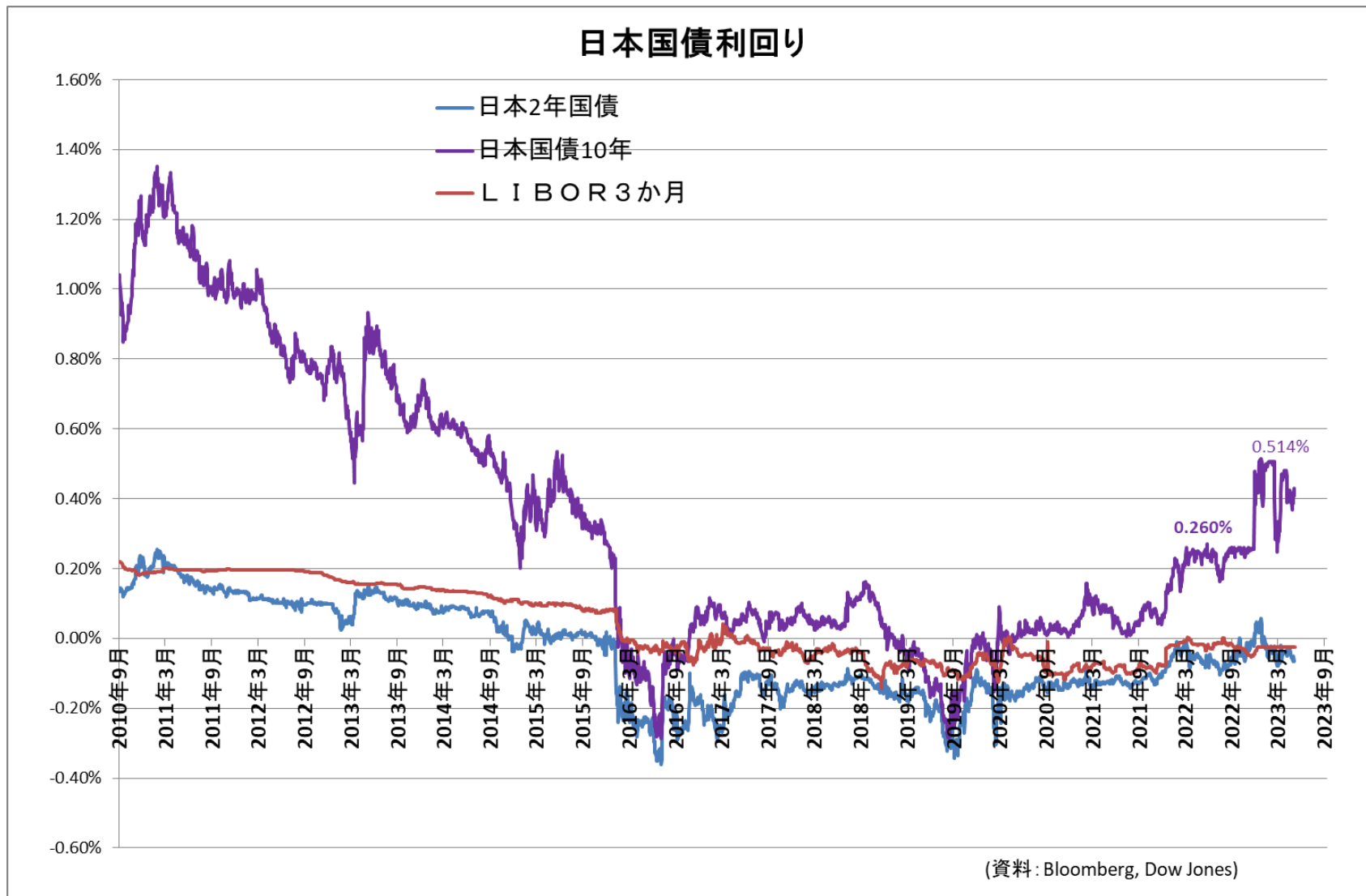
ユーロ圏周辺国10年国債利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

日本の長期金利も変動幅の変更で上昇も一服

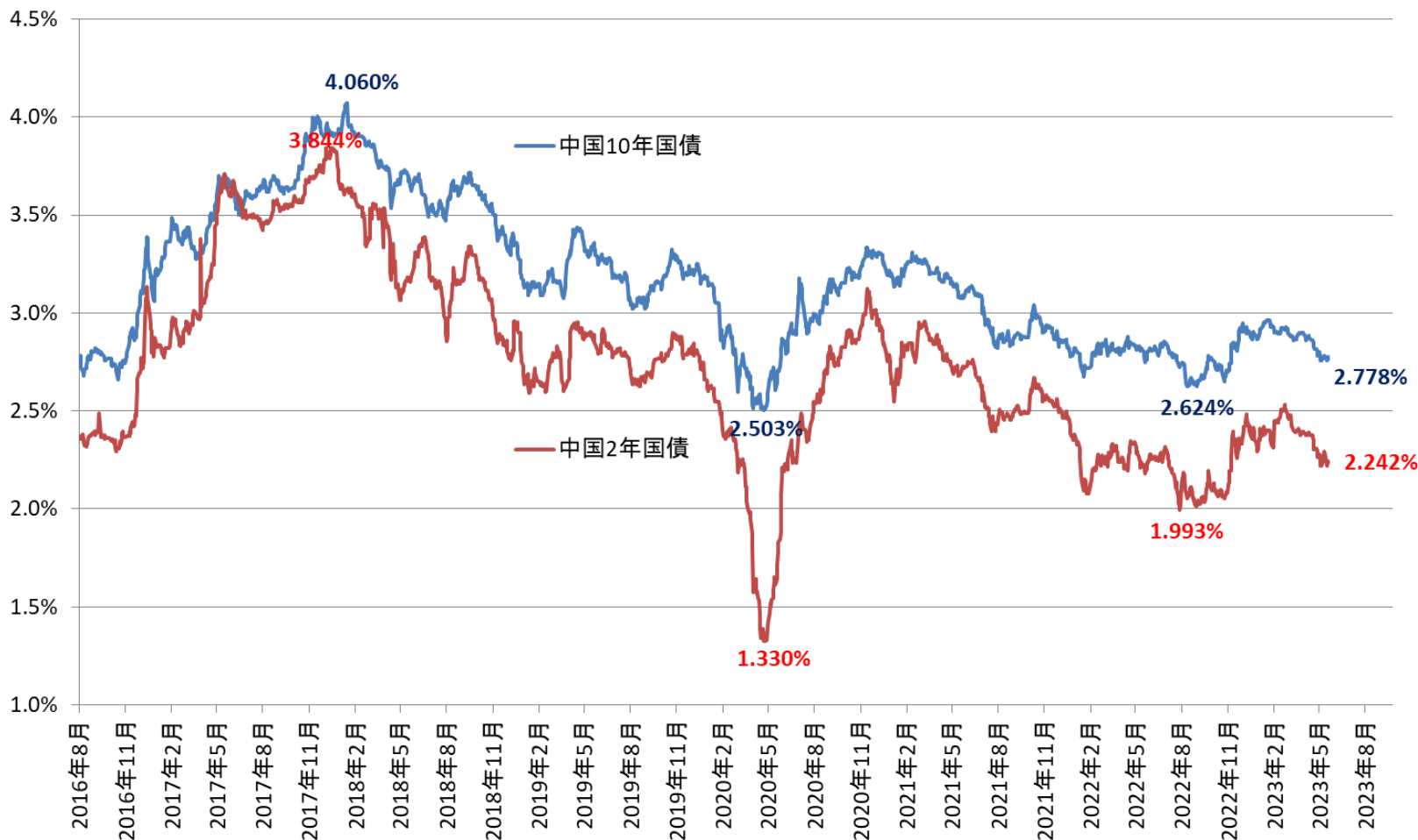
---イールド・カーブ・コントロールの水準転換も低金利政策維持---



中国短長期金利共に若干戻りから再低下

---直近利回り上昇はコロナ規制大幅緩和による需要回復期待---

中国国債利回り最近の推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。

本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粋な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。